

めだかの学校だより

平成 22 年 8 月 1 日
第 69 号

学舎：東久留女木新田観音山
「みどりの郷キャンプ場」内
事務局：静岡県磐田市
家田 529-20
TEL0539-62-6691

校長訓話

第六十九回 校長 池谷 俊裕

「はつくら倶楽部」 発表秘話

メダカの皆さん、残暑御見舞い申し上げます。

私が「めだかの学校」の仲間に入れて頂いたのは確か、浜名湖花博の2年前のことでした。しばらくは、同じ島田から池田メダカとふたりで通っていました。最近、黄瀬川・岩本メダカが参加して、賑やかになりました。学校そのものも楽しいことは勿論ですが、行き帰りの三女に囲まれた珍道中が、これまた有意義。政治・経済から学校教育・医療・介護・そして文化・芸術等々：あらゆる暮らしに関わるジャンルの話題が飛び出します。自分言うのもおこがましいけれど、質の

たかい？話しが二時間半の車中を飽きさせません。

それから話題に加えていつの頃からか「めだかの学校・島田分校」をつくりたいねという議題が本題になるようになりました。

実のところ、たとえ年4回とはいえ、島田から引佐まで通うというのは難儀なことですし、何より物事に真剣に取り組み、それでいて遊び心いっぱい、の地元仲間が欲しかったというのが本音だろうか？！

その思いが少しずつ形になって10数人の頼れる人達が集える様になりました。名称を「はつくら倶楽部」と申します。基本的な会運営は「めだかの学校」同様、くだれが生徒か先生か、であり建学の二つであります。

「めだかの学校・本校」のメダカの皆さん、島田、特に初倉にお越しの際には一声掛けて下さい。「はつくら倶楽部」一同熱烈歓迎いたします。

ところで、愛する初倉元気にする企画、第一弾が進行中です。10月2日（土）19時、初倉コミュニティセンター「くらら」において島田交響吹奏楽団によるコンサートが開催されます。メダカの皆様もどうぞお気軽に足をお運び下さいますように！！お待ちしております。

まだまだ暑さは遠のきそうもありませんが、各地で泳ぎまわるメダカの皆さん、お元気でこの夏を乗り切ってください。



めだかの学校伝言板

——第69回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長／池谷俊裕

教頭／鈴木格子

用務員／大久保陽

給食係／牛田松雄・田村進治・村木謙式・田中きみ子

今村純子・山中幸子・尾上美智子・大谷香代子

鈴木偉代・熊谷祥子・渡辺三ツ子(チーフ)

<学舎>静岡県浜松市北区引佐町東久留女木観音山
みどりの郷キャンプ場 TEL なし

開校日／平成 22 年 9 月 3 日（金）6：20 PMより——

受付／村松孝司・村田徳治・熊谷祥子・大場敬子
斉藤昭（後見人）

<時間割> 今回のテーマ

期初・特別授業「深める・・・」

●1時限（1時間）

総合的な学習 「ご自由にどうぞ」（質疑応答あり）

花井 孝先生

●給食の時間～旬のご膳～

10：15 開校

めだかの動き

泳ぎ回るめだかたち

■全国まちづくり交流会&かがり火支局長会議に行ってきました！

7月1日(金)から4日(日)までの4日間、沖縄・北中城で行われた第8回全国まちづくり交流会とかがり火支局長会議in伊是名島に参加してきました。

まず、最初の目的地は伊是名島(いぜんじま)。沖縄本島からフェリーで1時間もかかる離島。梅雨明けしていたにもかかわらず突然の大雨の中、NPO法人「島の風」の皆さんが港まで迎えに来てくれて、ずぶぬれになって荷物を運んでくれました。公民館では予定していたビーチパーティーが中止、軒先で焼いたバーベキューの料理を囲み、交流会が行われました。離島に移り住み「島のこしが島おこし」をスローガンに10年も「米つきパッタ」を続けながら、島を愛して止まないスタッフの島のこしの格闘を間近に見て感動、古民家を手直しして2泊以上貸し出すビジネスを進め、島の若者たちにも古民家改修の技術を受け継がせる活動に惹かれました。

2日目は「美ら海水族館」などの観光のあと、北中城村に入りました。「村」といっても人口1万6千人のまちで、我々の地域よりもずっと都会かもしれません。5地区に分かれ地元の人と交流会である前夜祭に参加しました。私の行った地域は「和仁屋」地区は、「シーサー」のまちで、翌日はこのシーサー作りの教室があり、私は「森の石松」風MYシーサーを作っちゃいました。

そして、最後は北中城公民館で大交流会があり、「一人ひとりの元気が地域を創る」をテーマに、地元も含め約400人が集まりました。シンポジウムを通じて、全国各

地の元気の意見交換が行われ、たくさんの方で盛り上がりました。出会いと笑顔を求めて集まる仲間たちの背中にも感激した4日間でした。この出会いの楽しさを静岡県でも行ってみたいとも思いました。次回には長野県開田高原、その次の第10回は森町ですよ。みんなで参加しましょう。

「きらめ樹」間伐体験と敷地川水中生物探検

磐田市の豊岡東公民館では、内田貴久メダカと鈴木正士メダカの協力を得て、夏休み親子環境講座「敷地川上流杉の皮はぎ間伐体験と敷地川水中生物探検」を、7月31日に親子など70余人が参加して行なった。「きらめ樹」間伐法は、従来の木を切り倒す方法とは違って、木の皮をはいで木を枯らす方法。杉の根元近くをノコギリで丸く白い粉が出るくらいに切り、竹べらで皮をはぎ易くして、下から上に向かって木の皮をむく方法。参加者は5班に分かれて、内田貴久メダカの指導を受けながら実践。一気に上の方までむけるものがあつたり、むけなかつたりと。皮のむけた杉に手をあてたり、なめたりと貴重な体験をする。午後には公民館横の敷地川へ入り、魚や水中の虫を捕まえて、魚や虫の名前を教わる。最後は、館長の榎原幸雄メダカが山林の果たす役割や、川の生き物などによって、水の汚れなどを知ることができると、自然と人間との関わりについて話す。

第2回姫街道検定100問

(子ども検定50) 解答参加者募集
浜松市北区細江町に事務局のある姫街道連絡協議会では、7月20日、23年1月10日まで、姫街道検定100問と題して、①姫街道には一里塚がたくさんあるが、ど

んな役目をしていたのか。(A距離の目安。B馬が休むところ。C茶店の目印)など、姫街道とその周辺の三択問題をつくって、回答者を募集している。問題用紙などについての問い合わせは、浜松市細江町気賀の奥浜名湖田園空間内、「姫街道未来塾姫街道検定」係、TEL 053・527・1124へ。

この推進人は、細江町の上嶋裕志メダカと磐田市の小林佳弘メダカ。地域の活性化と連携した文化の掘り起こしに力を注いでいる。

8月21日 第2回 遠州大念仏踊り「蟬しぐれの盆」

磐田市の磐田市自治会連合会豊岡支部東地区協議会では、遠州地方に古くから伝わる念仏踊り「遠州大念仏」(静岡県無形民俗文化財)の上演会「第2回遠州大念仏 蟬しぐれの盆」を8月21日(土)午後3時半、磐田市大平の獅子ヶ鼻公園下の野外広場で開催する。第2回は三遠南信地域との連携と交流も含めて、南信州阿南町の和合の念仏踊り、東三河新城市の大海放下踊りも参加する。出演団体は、上記2つの団体と、浜北の小松名風組、尾野組、新原下善組、地元の大平組。入場は協賛金500円(護摩木とうちわ代)。駐車場は近くにないので、元氣村近くの浜松ホトニクス(30分おき)に出る。問い合わせは、0539・62・6669 豊岡東公民館。

第4回「森町掃除に学ぶ会」

日本を美しくする会「森町掃除に学ぶ会」(代表世話人榎原淑友メダカ)の、「第4回」掃除に学ぶ会が9月19日(日)、8時~12時まで、森町谷中の町立宮園小学校で行なう。7時受付、8時~12時、

開会式、トイレ掃除、昼食、閉会式。掃除実習(200円(お弁当とお茶)。持ち物長靴、汗拭きタオル、必要な方はゴム手袋。申込み、問い合わせは、おさだ製茶内0538・85・3003。

10月22日、24日 第12回遠州横須賀街道「ちっちゃな文化展」

早いもので12回目となる「遠州横須賀街道・ちっちゃな文化展」、今年も10月22(金)~24(日)の3日間、城下町遠州横須賀の街並みを会場に開催されます。民家の玄関先や居間、空き家や空き地など77ヶ所の会場で、100余名の作家さんが町並みと美の晴れ舞台を演出、そのジャンルも絵画、版画、写真、陶芸、染織、ガラス工芸、彫刻、立体、映像、インスタレーションなど多岐にわたります。美術館や画廊などとまた違った雰囲気、気軽にそして身近で芸術を楽しんでいただけます。そして作家さんが会場に在任しているため、いろんな話も直に聞くことができます。会場ではそれぞれワークショップやミニコンサートなども開催されます。めだかの学校からは鈴木真弓メダカ、耳塚信博メダカが参加、毎年「そば打ち道場」を開催してくれていた松本芳廣メダカ、今年も土日の2日間河原町稽古場において「町並み保存チャリティー手打ちそば」の販売を行うことに、売り上げは横須賀の町並み保存のために活用させていただきます。期間中土・日には、JR掛川駅から直通のシャトルバスも運行予定、なお駐車場は、横須賀城址・三の丸大駐車場(400台)が便利です。芸術の秋の一日を「遠州横須賀」でお楽しみください。

鈴木武史メダカ生徒

■開校日を前に学舎をキレイに！
8月29日(日)午前9時から学舎の清掃をします。草刈り、枝打ち、料理場、教室、トイレ等。午前中で終わる予定ですが、お弁当持参でお出かけ下さい！

「人・ひと・ヒト」だより

●飯田市南信濃の玉置洋一メダカ。飯田市立病院に勤務。9月3日のめだかの学校に、久し振りに「豆腐の角でこぶをつくる」遠山の面白い豆腐を持って出席する。と。器と醤油をご用意ください。給食に一品増えましたヨ、渡辺三ツ子チーフさん。
●遠州は森町の亀澤進メダカ。遠州中央農協の情報誌に「森ほたるの会」の会長として大きく取り上げられる。森の街並みを情緒ある明かりで照らす。「森ほたる」は8月1日から15日まででした。

●磐田市の濱田綾子メダカ。6月15日から27日まで、豊岡東公民館ロビーで蚊帳アート展。6月20日のピアノコンサートでは、素晴らしい演奏とあいまって演出効果も最高でした。コンサートには伊藤英雄メダカも来てくれました。
●名古屋市の山根圭三メダカ。9月3日の「めだかの学校」に久し振りに登校します。と。香流川で何とか生きのびているヤマメメダカだ。いやいや元気いっぱいメダカです。

●浜松市の野嶋一男メダカ。10月11日(月)14時から浜松市福祉交流センターで、童謡・唱歌・叙情歌・日本歌曲・歌謡曲の音楽会、「土屋朱帆のほつとコンサート」母から子へつなぐ心。』を開催する。と。土屋朱帆とその音楽仲間との息のあったステージ、是非お出掛けを。チケット3000円。お問い合わせ・お申し込みは、エイトSPワークス事務所053・485・

0787野嶋一男まで。
●島田市の岩本伴江メダカ。スペースで「とび出す絵本」の展示即売会。8月31日まで開催。7月23日バラメダカ、夫婦でお邪魔する。いろいろな絵がとび出す絵本を見せていただいた。公民館で夏休みの絵本の読み聞かせがあるので、「不思議な国のアリス」を購入。初倉仲間の黄瀬川はつ枝メダカも来て、しばし談笑。「めだかの学校」のおかげで初倉倶楽部もできて、地域の活性化に貢献していると。岩本メダカ、雑誌「ゆうゆう」の9月号に掲載されていましたヨ。

●磐田市の大久保陽メダカ。チューリップ3000球、6ヶ所の花壇に分散植栽。あじさいも。4月と6月に中遠オーブンガーデンに参加した。と。今年も終わってしまったが、来年はせひのぞきにきてね。今はどんな花に彩られているのでしょうか。
●紀州木の国竜神の真砂典明メダカ。腰痛と腰痛で大変だ。腹筋、背筋力の回復に向けて、4月末完成したアルプフォルン(3m40cm)を吹いて頑張っている。だいたい上達して竜神の山里にアルプフォルンの音色を響かせている。郵便番号をしっかりと書いてあると、紀州木の国竜神・真砂典明が届きます。びっくり。こっちは番地が少し違っても戻ってくるのね。

●浜松市引佐町の鈴木一記メダカ。JAに務めながら、自らも久留女木の棚田を耕し、つづ各地の民族芸能など農村文化の素晴らしさをカメラに収めつづけた。その集大成である写真集「井の圃 棚田と伝承の里」を出版。その出版記念交流会を10月3日(日)午前十一時から午後二時まで、浜松市のホテルコンコルド浜松2F雲の間で開催。会費は8000円(写真集込み)。記念交流会の発起人には、伊藤八右メダカや城内実メダカらがなっている。問い合わせ

せは、053・542・1793の世話人石原正義さんへ。
●東京都に在住で静岡新聞朝刊の4コママンガ「ゴンちゃん」の作者がまじよしろうメダカが、11月7日(日)磐田市貴地豊岡研修センターで開催される磐田市文化協会豊岡支部の「みんなの文化展」に招かれて「似顔絵教室」を開く。どうです、書いていただいたら、お待ちしますヨ。
●浜松市の大谷洋介メダカ。静岡県の余暇プランナー協会に所属し、多くの人をあちらこちらに案内している。浜松市の山崎敏明メダカが余暇プランナー協会の浜松市東区俳句の里句碑めぐりに参加したら、そのときの先生が大谷メダカだった。だって東区の笠井地域には、俳師松尾芭蕉に比べられるぐらゐの俳師松島十湖さんがいたんだって。そんなこともあってか俳句碑が多いとか。俳句に興味のある方は、大谷洋介メダカへ。

●浜松市の水島加寿代メダカ。母娘で書道展に。6月29日からクリエイティブで開催された「景雲社」書道展に母娘で出品だ。演奏家に今度は邑舟と名乗る書道家でもあった。はてさて、いくつの顔がある？

【新入生紹介】
●飯田市の長谷部三弘メダカ。めだかの学校だよりで、名前が出たこともあるので、ご存じの生徒もいるかも。長谷部メダカ。飯田市の上久堅で風土舎を設立し、地域づくりに長く携わる地域のリーダー。毎月発行されるB4の手書き「ひさかた風土舎通信」はこの7月で230号を数える。紙面のリレー通信には、関京子メダカ・水島加寿代メダカ・榊原幸雄メダカからも載せていただいている。めだかの学校とは、長く「たより」の交換をしている。
●飯田市の後藤莊一メダカ。飯田市議で、

農業も熱心でさくらんぼも作っている。飯田市の玉置洋一メダカの友人、最初に地域づくり、農業振興で議論したんだって。三遠南信濃などについて話ができれば。と。
※今回は紙面の関係で、はいこれまで。

『めだかの学校雑感』

めだかの学校は、この9月3日で18年目になる。言い出しつべの伊藤茂男、平山豊、武井紀夫、榊原幸雄は50代。「地域づくり」とは、「と」と、地域を語り、人生を語り、夢を語り合った。そして異人種の仲間を抱き込んで、異なった意見をぶつ切ったものである。そんなことから「異人種交流グループ」と言われもした。18年と云う月日は、伊藤茂男メダカ、平山豊メダカを天国に送り出し、武井紀夫メダカは体調をくずして長くりハビリを続けている。言い出しつべの現役は榊原幸雄メダカひとりである。

『満月の日にやろう』で始まった第一回めだかの学校は、平成5年9月3日。学舎のあった引佐町奥山は、台風の余波で山は大荒れで真つ暗。そんな中、57名の生徒が登校してきた。4人からこぼれた言葉は『なんて奴らだ、こいつらは』であった。そんな現役一回生は松田不秋、加茂光廣、武井紀夫、石野省三、牧野久子、榊原幸雄の6メダカだけである。18年の歳月は多くの仲間が夢を語り、人生を語り、そして去つてもいった。この頃のある日のこと、教室の前に立つたとき「みんな年をとったなア」が実感。かく言う私もセブンティン。と云いつつ、こんな山の中の学校に、『怖い！怖い！』と言いつつ、毎回50人以上の生徒がやってくる。私に去来する思いは今も『なんて奴らだ、こいつらは』なのかも知れないのである。(バラメダカ)

トピックス

■「ご存知でしたか、めだかの学校」NHKで放映された！

7月28日の水曜日、三夏の「たつぷり静岡」のマイビデオコーナーで、午後6時45分ごろから1分ちよつと放映された。管理棟の坂を登る2人の後ろ姿、村木謙一メダカと伊藤英雄メダカからの料理づくり、岩本伴江と喜瀬川はつ枝メダカからの校歌斉唱、奥宮教生先生の講義風景など、いくつかの顔が見えました。このマイビデオ、湖西市新居町の余暇プランナー鈴木芳朗さんが6月4日の「めだかの学校」を撮影したものです。「14分ほどでまとめているので後日差し上げます」とのこと。このビデオ、思わぬ副産物がついて、NHKが9月3日の「めだかの学校」をカメラ班が都合がつけば取材したい」だって。はてさてどうなることやら…。

■テレビと言えば、豊田由美メダカ、朝日テレビの「人生の楽園」に

富士市大淵の豊田由美メダカ、亡くなられたご両親の遺ごされた実家の農家レストラン「ちやの生」を引き継いで大活躍。その取り組みがクチコミで広がり、6月21日フジテレビとくだね！「天達武史の旬学旅行」に出演。お茶の葉の料理を披露。6月19日には朝日テレビの「人生の楽園」(30分間)に出演。ご両親の佐野玲子メダカと久メダカのこと、家族のこと、今ある生活のことなどを話された、と。

母の玲子メダカは、めだかの学校に入學した頃、肺がんが見つかり、数年にわたってガンと闘い、その戦いの状況を先生として語る予定だったが、開校当日体調がすぐ

れず、渡された原稿を、事務局の榊原幸雄メダカが感情を抑えてたんたんと読んだことが記憶によみがえります。

■事務局だより

残暑お見舞い申し上げます。厚いですが、「地球温暖化のせいだ」なんて言ってられないですね。自分の健康を維持することで精一杯。熱中症に気を付けてね。

さて、第68回のめだかの学校は6月4日、校長服部守孝、教頭鈴木偉代、用務員牛田松雄。高齢の両親を息子が支える図。いいトリオです。エッ、3時間目の村松孝司先生が用事で出られない？。義理難い村松先生。学校までその旨を伝えに…。さてどうしたものか、と思案中のところに奥宮教生メダカとバツタリ。「ちようどいいところであつた。ピンチヒッターで先生やってよ」エッ、村松先生が出られないの？。その村松先生の「ひき蛙 負けるな村松」このありに魅かれてきたのに」と言いつつ引き受けてくれた。ハブニングはめだかの学校にはつきもの。校歌の伴奏の加茂光廣メダカも西川裕子メダカも欠席。なんと校歌は無伴奏で。一時間目、技術「ホンダの技術の源泉は…たときあげればこそ」大谷洋介先生。オヤジ本田宗一郎さんの話などをまじえて、技術の源泉を語る。二時間目、「必ず当たり前です、心掛け次第で」。田中きみ子先生。新城市でいくつかのコンビニを経営。宝クジで一億円が連続で出たんだって。その人気が抜群、もちろん売れ行きも。その源泉は、感謝の心にあつた。

(※サマージャンボ宝クジ買いに行ったメダカ生もあるんだって、当たればいいね。三時間目の奥宮教生先生。ピンチヒッターとはいいながら、豊富な博識と話術で生徒を魅了する。三者三様、よかつたね。

校長訓話。「みなさんお年を…。椅子の方がいい人か？」と問いかけると15人ほどが手をあげる。めだかも高齢者学校に突入か。事務局からは、学舎の清掃に石野省三メダカ、伊藤英雄メダカ、牧野久子メダカの3人がやってくれたことを報告。感謝。18期の手続きははじめたことを説明。お待ちかねの給食は武ちゃん農園のじやがいもが主役。食材もよく多くの給食係が関わって、美味しいかつたですヨ。私語飲食全て禁止の次回3役の発表。第69回は9月3日、第18期の最初。校長川島安一、教頭鈴木格子、用務員大久保陽。校長の川島安一メダカ、早退で代役は松本芳廣メダカ。見事務める。さて、その川島安一メダカ、後日連絡すると、「その時は、ロシアへ静岡茶を売り込みに行つて留守」。いかにせんロシアではねえ。急拠島田市の池谷俊裕メダカに、「島田の女性2人が校長やつてるんだから…」と有無もなし！。

第69回の「めだかの学校」の職員会議を、7月9日磐田市の元氣村「味里」で開く。校長池谷俊裕、教頭鈴木格子、用務員大久保陽の3役揃い踏み。校長の変更を報告。はじめに7月1日～3日まで沖繩で開かれた全国各地域づくり大会に参加した村松達雄メダカが、その内容を報告。そのあとはいつもの如くああでもないこうでもないの議論。第69回は期初なので特別授業でテーマは「深める」と。先生は、清水みなとかつぽれをはじめ、地域おこしの仕掛人として全国的にも知られる静岡市清水区の花井孝メダカに自由に話してもらうことに。超「ご多忙なご尽。でも、やつてくれるでしょう！。

■あ、あ、あ、のお詫びとお礼と…

発行日を、1日ではなく、15日にしたら：と思うことしきり。とにかく鈴木武史、伊藤英雄、本島慎一郎メダカさん、最後の締めは間瀬亮太メダカさんよろしく！。みなさん、ごめん。感謝！。

■第18期の受け付けを始めています

第18期は、22年9月1日から23年8月31日までです。随時申込みは受け付けますが、8月31日が締切り日です。50人ほどが申込んでいますが、8月31日までに郵送するか持参してください。継続手続きがなされていない生徒にはもう一度申込書を同封しますが、手続きを怠ると名簿からはずれ自主退学となります。ご注意ください。また入学希望者がありましたらご連絡ください。申込書と資料を送ります。

■めだかの学校だよりの原稿を！

次回の発行日は平成22年11月1日、原稿の締切りは10月20日です。あなたの活動予定やイベント、活動実践など送ってください。郵便かFAXで。メールの方は、

《mabuchi-trd@r.tnc.ne.jp》

間瀬亮太090・5009・0986です。(メールの方は割付の関係もあるので「ご報告」。

■めだかの学校の事務局

〒438-0105 静岡県磐田市家田52
9番地20 榊原幸雄方 TEL053
9・62・6691 (FAX同じ)

※学舎「みどりの郷」には電話はありません。連絡・お問合せは事務局へ。

